※令和４年度以降入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　公民科

科目	公共	単位数	３	必要Ｓ出席数	３
使用教科書	「公共」　（実教出版）				
副教材等	なし				

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	９通	３	３	３
スクーリング	１２回	４	４	４
テスト	２回	あり	あり	なし
課題・実習等				

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「公共」を学ぶ目的は、批判精神をもった人間として、一人ひとりが個人として尊重される、自由で平和な民主的社会を、どのようにして作っていくかを考えることです。そのためには教科書やレポートで学んだことから現代社会の課題を考えていく必要があります。。現代は、情報があふれている情報社会です。書籍・新聞などの出版物、テレビ・インターネットなどから情報を入手し、自分で何が正しいのか考え、関心を持って学習を進めていきましょう。

２　学習の到達目標

・社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。
・選択・判断の手掛かりとなる概念や理論に関わる諸課題に関して理解するとともに、諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・現代社会の諸課題について、事実を基に概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする力、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを記述する力を養うようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会の諸課題の解決の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本原理に関する事柄を理解し、それらの知識を活用して諸資料から必要となる情報を適切に選択て、まとめる技能を身に付ける。	現代社会の諸課題の解決に向けて、さまざまな事実を多面的・多角的に考察し、公正に判断したことを適切に適切に表現している。	平和で民主的な国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

- 学習指導要領(第１章第７款の４)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	社会をつくる私たち／人間としてよく生きる／民主社会の倫理／民主国家における基本原理／日本国憲法の基本的性格／日本の政治機構	・青年期とは ・自己形成の課題 ・古代ギリシアの人間観 ・科学と人間 ・自由の実現 ・人間と幸福 ・公正な社会をめざして ・人間の尊厳と平等 ・自由・権利と責任・義務 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界の主な政治制度 ・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本的性格 ・平和主義とわが国の安全 ・こんにちの防衛問題 ・政治機構と国会 ・行政権と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民福祉	a:青年期や古今東西の思想、民主政治の原理や日本国憲法について理解し、またそれらに関する諸資料を収集し、適切に活用している。 b:青年期や古今東西の思想、民主政治の原理や日本国憲法から現代社会の課題を見出し、公正に判断し、その過程を適切に表現している。 c:青年期や古今東西の思想、民主政治の原理や日本国憲法から見出された現代社会の諸課題について、主体的に解決しようとしている。	レポート テスト	レポート テスト	レポート テスト スクーリング
2	日本の政治機構と政治参加 現代の経済社会	・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参加 ・経済主体と経済活動の意義 ・経済社会の変容 ・市場のしくみ ・市場の失敗 ・現代の企業 ・国民所得 ・経済成長と国民の福祉 ・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税 ・日本の財政の課題	a:政党政治や選挙制度、市場経済や金融・財政に関する事象について理解し、それらに関する諸資料を収集し、適切に活用している。 b:政党政治や選挙制度、市場経済や金融・財政に関する課題を見出し、公正に判断し適切に表現している。 c:政党政治や選挙制度、市場経済や金融・財政に関する課題を主体的に解決しようとしている。	レポート テスト	レポート テスト	レポート テスト スクーリング
3	日本経済の特質と国民生活／国際政治の動向と課題／国際経済の動向と課題	・戦後日本経済の成長と課題 ・経済社会の変化と中小企業 ・農業と食料問題 ・消費者問題 ・公害の防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利 ・社会保障の役割 ・国際政治と国際法 ・国際連合と国際協力 ・人種・民族問題 ・軍拡競争から軍縮へ ・国際平和と日本の役割 ・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・第二次世界大戦後の国際経済	a:戦後日本経済や国際政治・経済に関する事象について理解し、それらに関する諸資料を収集し、適切に活用している。 b:戦後日本経済や国際政治・経済に関する現代社会の課題を見出し、公正に判断し、適切に表現している。 c:戦後日本経済や国際政治・経済に関する現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	レポート テスト	レポート テスト	レポート テスト スクーリング

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度